

# 平成29年検証結果の反映状況 (委員依頼資料)

# 平成29年検証結果の反映状況

## 生活扶助基準（平成30年10月時点 居宅基準額③）

消費実態の較差指数 1.00 0.97 0.92 0.92 0.86 0.83

展開指数 1.00 0.97 0.92 0.92 0.86 0.83

消費実態の較差指数

【第1類】

↓ 展開指数	展開指数		1級地-1	1級地-2	2級地-1	2級地-2	3級地-1	3級地-2
0.94	0.94	0~5歳	44,010	42,730	40,620	40,620	37,810	36,430
0.96	0.96	6~11歳	45,010	43,700	41,550	41,550	38,670	37,250
1.01	1.01	12~17歳	47,090	45,710	43,460	43,460	40,460	38,970
1.00	1.00	18~64歳	46,760	45,390	43,160	43,160	40,170	38,700
0.96	0.96	65~74歳	44,700	43,390	41,260	41,260	38,410	36,990
0.86	0.86	75歳以上	40,350	39,180	37,250	37,250	34,670	33,400

消費実態の較差指数

【逡減率】

↓ 展開指数	展開指数	人数	逡減率
1.00	1.00	1人	1.0000
1.71	1.71	2人	0.8548
2.15	2.15	3人	0.7151
2.40	2.40	4人	0.6010
2.84	2.84	5人	0.5683

消費実態の較差指数 1.00 0.96 0.96 0.96 0.96 0.96

展開指数 1.00 0.96 0.96 0.96 0.96 0.96

消費実態の較差指数

【第2類】

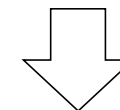
↓ 展開指数	展開指数		1級地-1	1級地-2	2級地-1	2級地-2	3級地-1	3級地-2
1.00	1.00	1人	28,490	27,300	27,300	27,300	27,300	27,300
1.47	1.47	2人	41,830	40,090	40,090	40,090	40,090	40,090
1.63	1.63	3人	46,410	44,480	44,480	44,480	44,480	44,480
1.70	1.70	4人	48,400	46,390	46,390	46,390	46,390	46,390
1.70	1.70	5人	48,430	46,420	46,420	46,420	46,420	46,420

(注) 平成30年の生活扶助基準の見直しにあたっては、居宅基準額③において検証結果を反映しているほか、減額幅を5%以内に止め、3か年に分けて段階実施するなど激変緩和措置を講じているため、経過的加算額表等が別に設けられている。このため、実際の基準額は、必ずしも指数と一致するものではない。

また、実際の生活扶助の基準額の算定にあたっては、左記の基準額及び上記の内容に加えて、世帯の状況に応じて、児童養育加算、母子加算、障害者加算など各種加算が計上される。

【夫婦1人世帯】

世帯構成	(第1類の合計 × 逡減率 + 第2類)					
	1級地-1	1級地-2	2級地-1	2級地-2	3級地-1	3級地-2
18~64歳2人・0~5歳1人	144,758	139,953	135,255	135,255	128,969	125,880
18~64歳2人・6~11歳1人	145,473	140,647	135,920	135,920	129,584	126,466
18~64歳2人・12~17歳1人	146,960	142,084	137,286	137,286	130,864	127,696
18~64歳3人	146,724	141,855	137,071	137,071	130,657	127,503



平均的な額 ≒ 消費水準 136,638

↑  
夫婦1人世帯 収入階級第1十分位的生活扶助相当支出  
(外れ値3σの場合)

※ 「消費実態の較差指数」及び「消費水準」は、平成29年検証において生活扶助基準との比較に用いられた消費実態の分析結果による。世帯人員別の消費実態の較差指数は、平成29年検証において「実データによる方法」とされたもの。比較可能のため、年齢別較差は18~64歳を1とし、級地間較差は1級地1を1として表示。

※ 「展開指数」は、表中の基準額の較差。